LIXIL　EVファンクション　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

⚠注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工,組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
●梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<電気配線工事について>

⚠注意

●電気設計および電気工事は資格を有する電気工事店に依頼してください。
●電気自動車や住宅側で使用する電化製品に設定されている電流値などを考慮して、電気設計および主幹ブレーカーの選定を行ってください。その際に、電力プラン契約内容の見直しが必要になる場合があります。
●充電BOX1個ごとに必ず専用回路を敷設してください。
●ジョイントボックスを用意して、1回路ごとに必ず過電流保護付き漏電ブレーカーを設置してください。
●AC200V用電源線にはφ2.0～2.6の3心単線、AC100V用電源線にはφ1.6～2.0の3心単線(アース線含む)を使用してください。
●充電BOXおよび本体には必ずD種接地工事を行なってください。
●絶縁抵抗計(メガー)をコンセントや端子台の極間で使用しないでください。極間の電子部品が破損します。
●電気配線工事は「電気設備の技術基準」および「内線規定」に基づいて施工してください。

<明るさセンサーの施工場所について>

注 意

●明るさセンサーレンズ(検知部)側に障害物がないように取付けてください。障害物があると点滅を繰り返すことがあります。
●昼間でも暗い場所への取付けをお避けください。早く点灯、遅く消灯することがあります。
●夜間でも明るい場所への取付けをお避けください。点灯しないことがあります。

<施工上のご注意>

注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

ポイント

●施工後、ダイヤル錠解錠シール、取扱説明書(兼保証書)を必ずお客様にお渡しください。

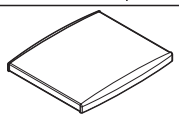
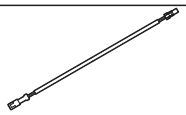
<基礎工事について>

注 意

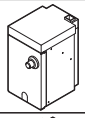
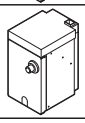
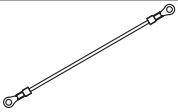
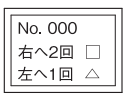
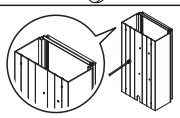
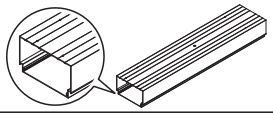
●基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決められていますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
●コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートは、速やかに拭取ってください。
●養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

■梱包明細表

【1】サイド柱

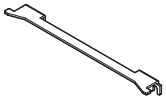
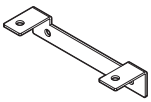
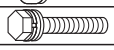
名　称		略　図	員　数	
			サイン照明付き	サイン照明なし
サイド柱(ファンクション用)　右			1	1
サイド柱(ファンクション用)　左			1	1
上カバー			1	1
照明セット	サイン用LEDユニット		1	ー
	LED用ファンクションケーブル		1	ー
	【1-1】φ4×16(+)トラスタッピンネジ3種 D=8		6	ー
	【1-2】φ4×8(+)ナベタッピンネジ3種		2	ー

【2】センター柱(充電BOX入り)

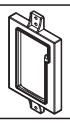
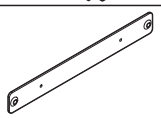
名　称		略　図	員　数	
			AC100V用	AC200V用
充電BOXセット	充電BOX(AC100V)		1	ー
	充電BOX(AC200V)		ー	1
	充電BOX取付金具		2	2
	アース線		1	1
	ダイヤル錠解錠シール		2	2
	【2-1】M4×10(+)ナベ 小ネジ(SW+PW)		10	10
センターブロック			1	1
センター柱(ファンクション用)			1	1
カバーガイド金具			2	2

■梱包明細表

【2】つづき

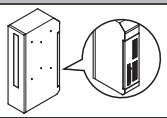
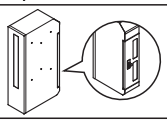
名　称	略　図	員 数	
		AC100V用	AC200V用
カバー受け金具		1	1
シリコンスペーサー		2	2
センター柱固定金具		8	8
ポスト取付金具		1	1
ポスト取付用スペーサー		2	2
上カバー固定金具A		1	1
注意シール		1	1
【2-2】φ4×8(+)ナベタッピンネジ3種		6	6
【2-3】M5六角ナット1種		12	12
【2-4】φ4×8(+)トラスタッピンネジ3種 D=8		12	12
【2-5】M5×14六角穴付ボルト(SW)		14	14
【2-6】M5×20六角ボルト(PW+SW)		4	4
取扱説明書〈A542〉	―	1	1
取付説明書〈UA198〉	―	1	1

【3】EV用ポストセット

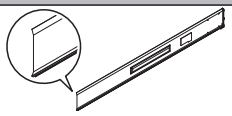
名　称		略　図	員 数			
			インターホンスペーサーA入り		インターホンスペーサーB入り	
			プッシュ錠付き	錠なし	プッシュ錠付き	錠なし
インターホンスペーサーセット	インターホンスペーサーA		1	1	―	―
	インターホンスペーサーB		―	―	1	1
	インターホン固定金具		1	1	1	1
	【3-1】M4×30(+)トラス小ネジ D=8		2	2	―	―
	【3-2】M4×40(+)トラス小ネジ D=8		―	―	2	2
	【3-3】φ4×10(+)トラスタッピンネジ3種 D=8		2	2	2	2

■梱包明細表

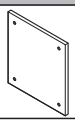
【3】つづき

名　称	略　図	員 数			
		インターホンスペーサーA入り		インターホンスペーサーB入り	
		プッシュ錠付き	錠なし	プッシュ錠付き	錠なし
スリム縦型ポスト（プッシュ錠付き）		1	―	1	―
スリム縦型ポスト（錠なし）		―	1	―	1
取付説明書〈A460〉	―	1	1	1	1
取扱説明書〈UA172〉	―	1	1	1	1

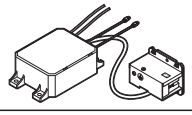
【4】フロントカバー

名　称	略　図	員 数
フロントカバー		1

【5】ガラスサイン

名　称	略　図	員 数	
		ネームシール	特注彫込み
ガラスサイン		1	1
ネームシール ※黒/白の2色を同梱		2	―
【5-1】化粧ネジM4用		4	4
【5-2】M4×20ナベ（SW+PW）		4	4
【5-3】シリコンスペーサー L=6		4	4
【5-4】M4ゴムワッシャー		4	4

【6】DC12V内臓トランス電源　オプション

名　称	略　図	員 数
DC12V内臓トランス電源		1

1. EVファンクション施工前の確認事項

※ジョイントボックスからEVポールへの配線工事はP13を参照ください。

1-1 住宅の電気設計と電源配線について

⚠注 意

●電気自動車の充電定格容量(200V/20A、100V/15A)を考慮した電気設計、電源配線をしてください。
●電気設計および電気工事は資格を有する電気工事店に依頼してください。

(1) サイン照明付きの場合

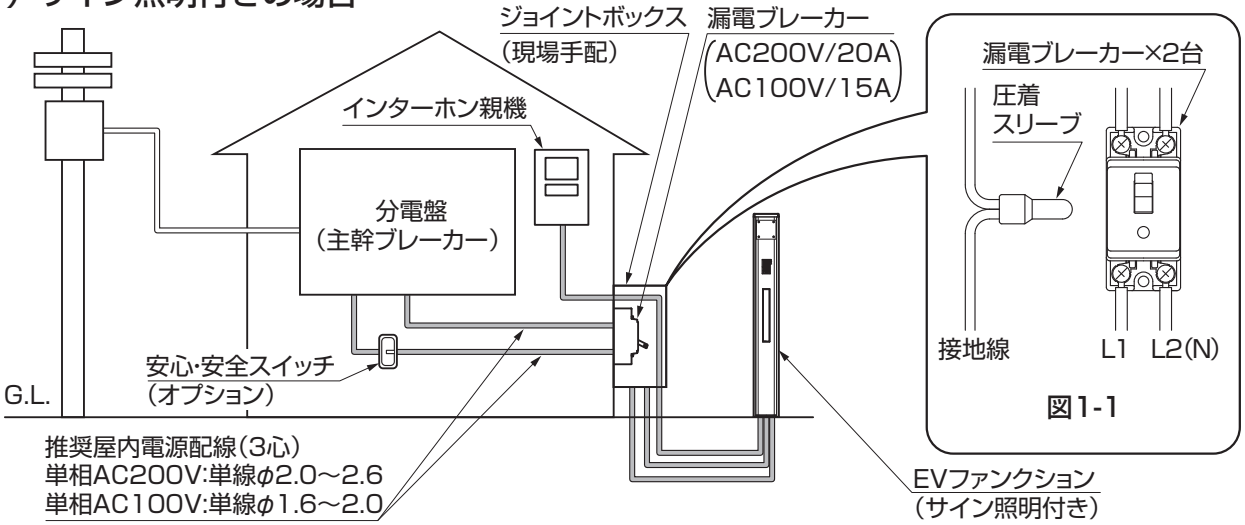


図1-1

⚠注 意

●サイン照明にはAC100Vの電源が必要です。
●住宅の分電盤(主幹ブレーカー)からEVファンクションへ必ず専用電源回路(2回路)を敷設してください。
●ジョイントボックスを用意(現場手配)して、電源配線には必ず1回路ごとに過電流保護付き漏電ブレーカーを設置してください。(図1-1参照)

(2) サイン照明なしの場合

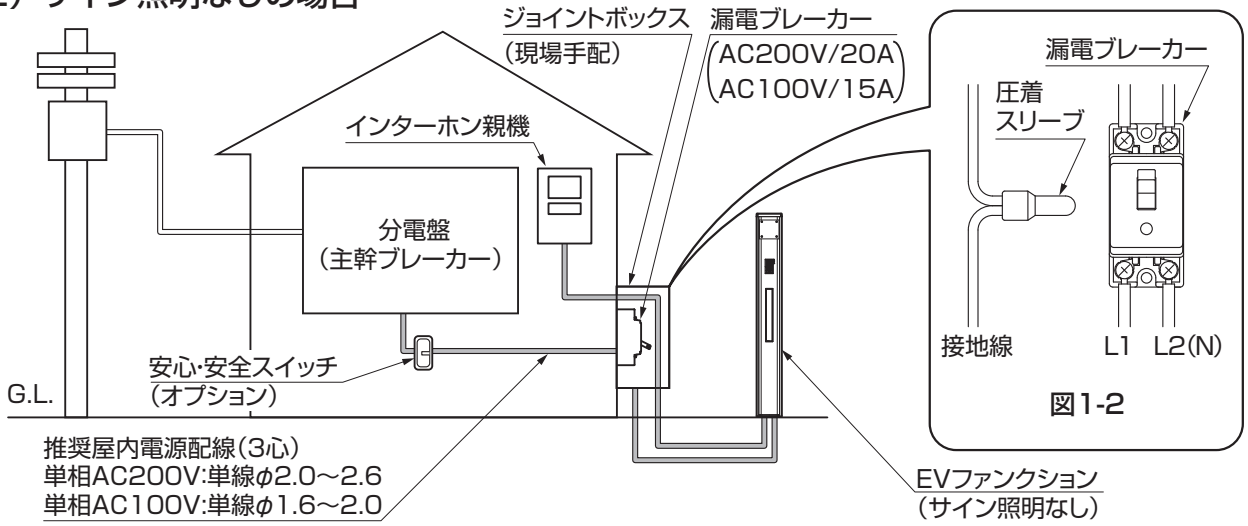


図1-2

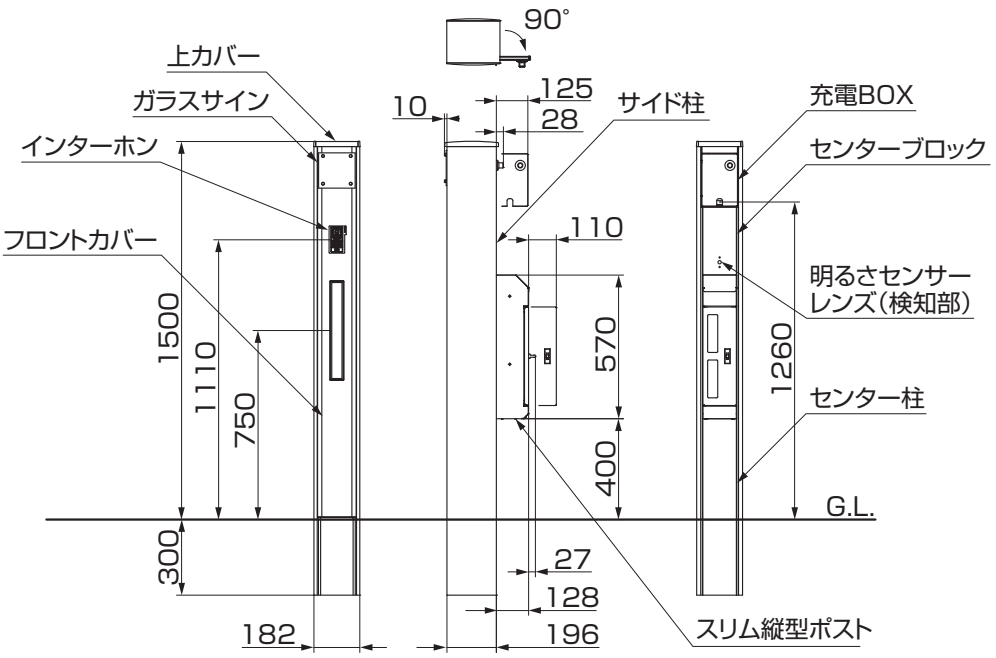
⚠注 意

●住宅の分電盤(主幹ブレーカー)からEVファンクションへ必ず専用電源回路(1回路)を敷設してください。
●ジョイントボックスを用意(現場手配)して、電源配線には必ず過電流保護付き漏電ブレーカーを設置してください。(図1-2参照)

A542_201111C

2. 基本寸法図および各部の名称

2-1 EVファンクション本体



2-2 充電BOX

（1）各部名称

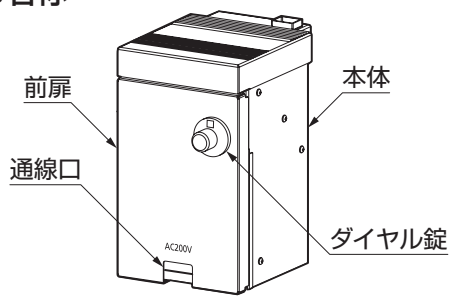


図2-1　正面

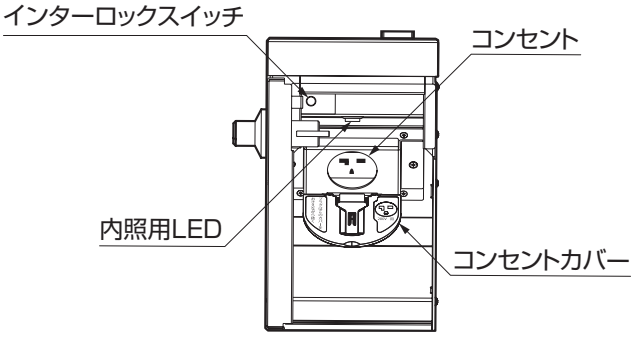


図2-2　開状態

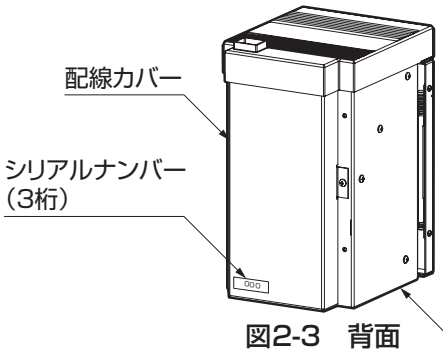


図2-3　背面

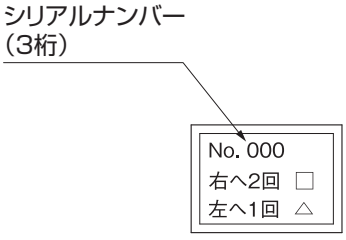


図2-4　ダイヤル解錠シール（2枚）

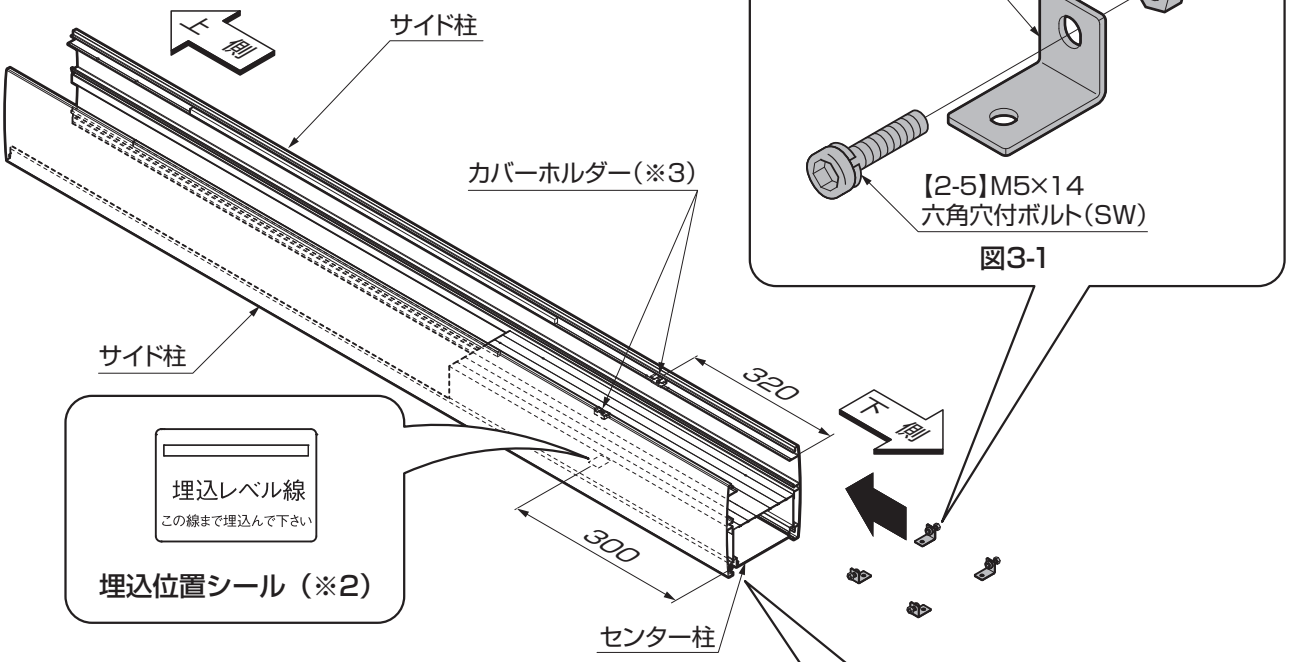
補 足

●充電BOX背面のシリアルナンバーとダイヤル錠解錠シールのシリアルナンバーが一致することを確認してください。（図2-3、図2-4 参照）

●ダイヤル錠解錠シールの1枚は取扱説明書の17ページへ貼付けてください。残りの1枚はお客様へ渡してください。

3. 基礎施工前の準備

3-1 柱の組立て



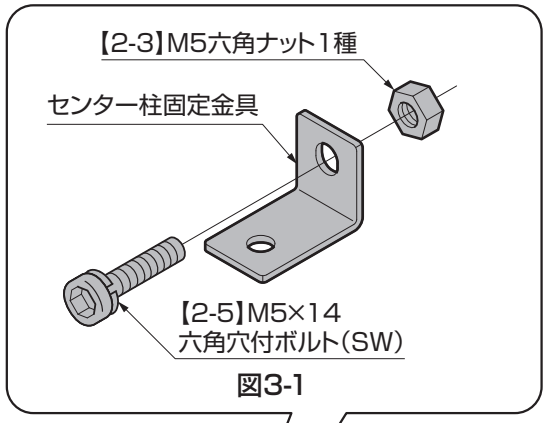


図3-1

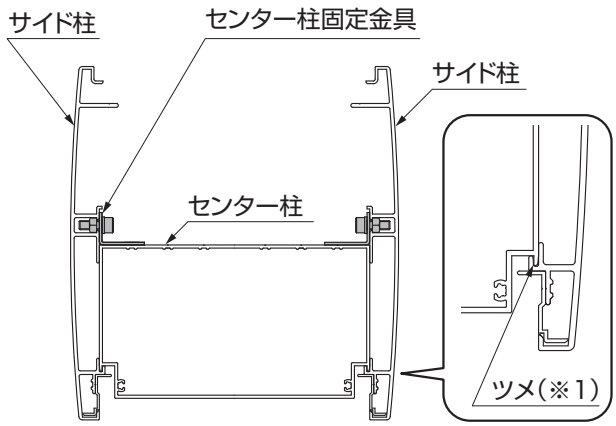


図3-2　断面図

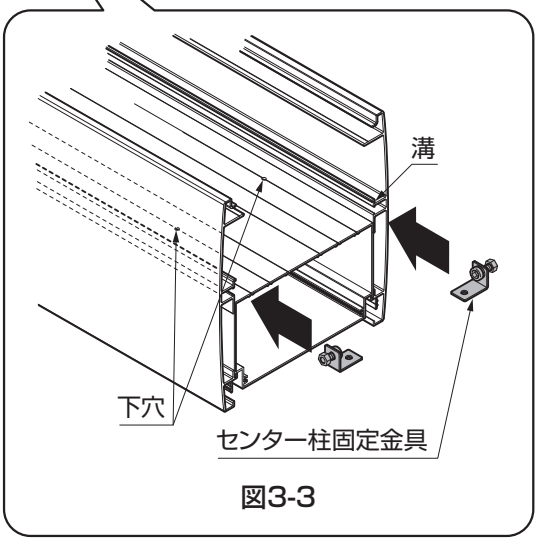


図3-3

①センター柱固定金具に【2-5】を通して【2-3】を手回しで仮締めしてください。（図3-1 参照）

補 足

●図3-1を4セット組立ててください。

②センター柱のツメ（※1）をサイド柱にはめて下側端部の位置を合わせてください。（図3-2参照）
③図4-1の【2-3】を緩めて、センター柱固定金具をサイド柱の溝にスライドして挿入してください。（図3-3参照）
④センター柱の下穴にセンター柱固定金具をあわせて【2-5】を手回しで仮固定してください。（図3-3参照）

ポイント

●センター柱とサイド柱には上下があります。（※2）（※3）
●センター柱固定金具を4個全て仮固定してください。

A542_201102A

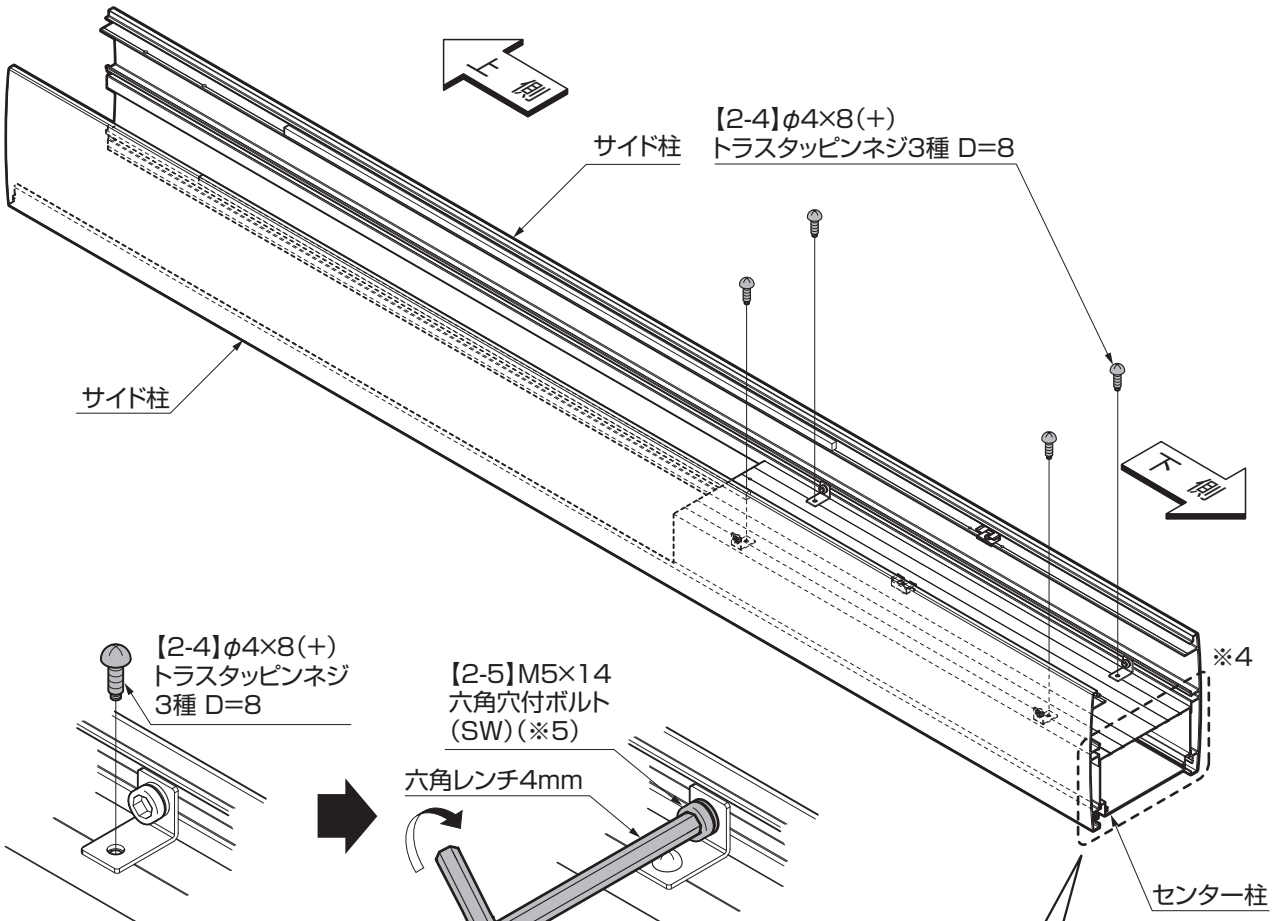


図3-4

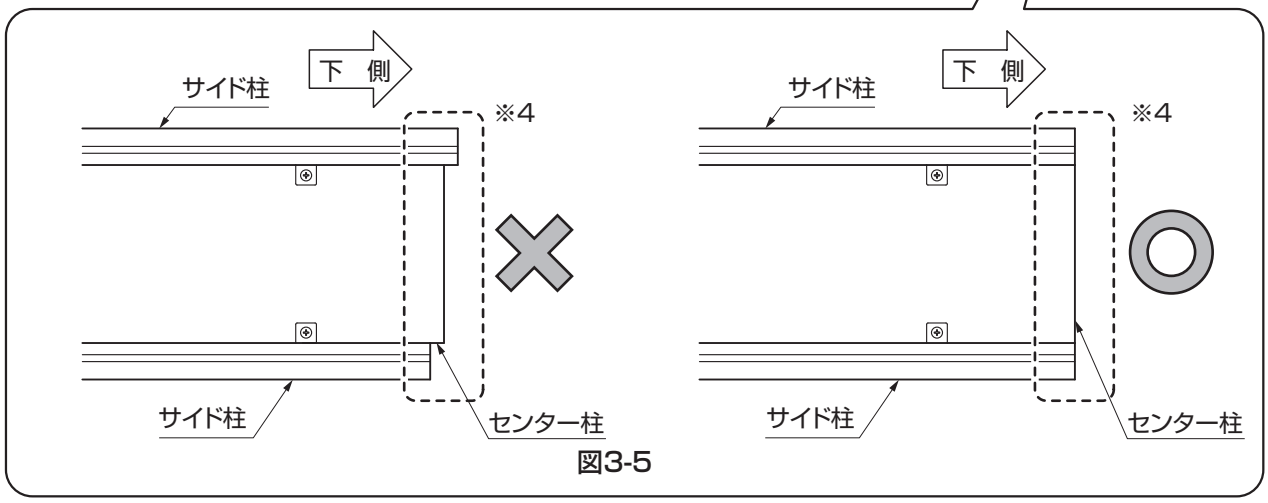


図3-5

⑤センター柱固定金具を【2-4】でセンター柱に取付けて、【2-5】を増し締めしてください。(図3-4 参照)

ポイント

- ●センター柱とサイド柱の下側端部がずれないようにしっかりと押えながら【2-5】を締め付けてください。(※4)(図3-5 参照)
- ●【2-5】は六角レンチ4mmで、スプリングワッシャーがつぶれるまで締め付けてください。(※5)(図3-4 参照)

A542_201607D

3. （つづき）

3-2 カバー部品の取付け

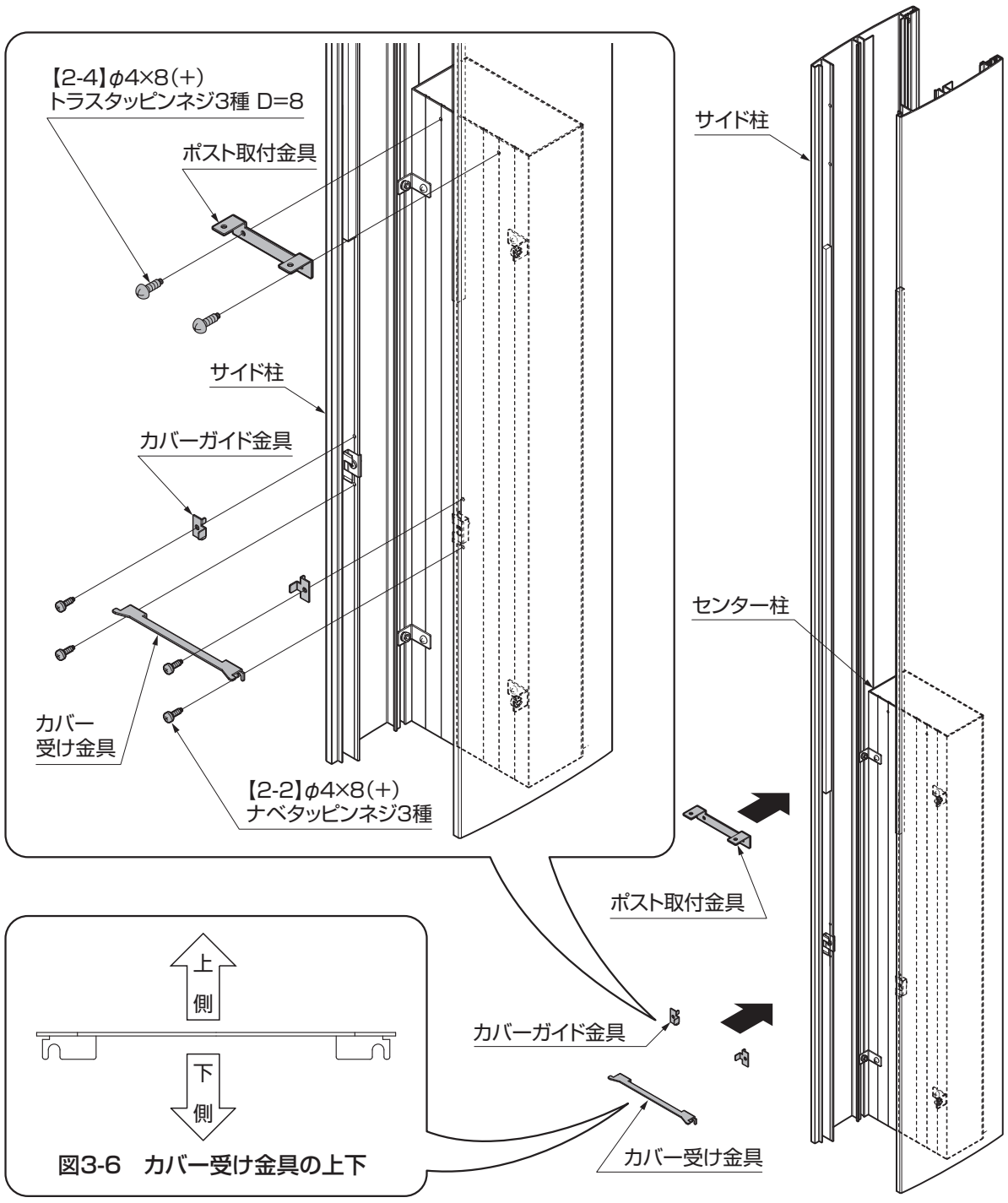


図3-6　カバー受け金具の上下

①センター柱にポスト取付金具を【2-4】で取付けてください。
②サイド柱にカバーガイド金具を【2-2】で取付けてください。
③サイド柱にカバー受け金具を【2-2】で取付けてください。

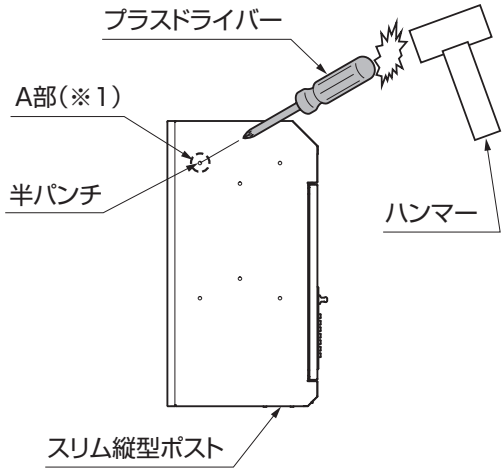
ポイント

●カバー受け金具には上下があります。(図3-6 参照)

A542_201102A

3-3 ポストの組立て

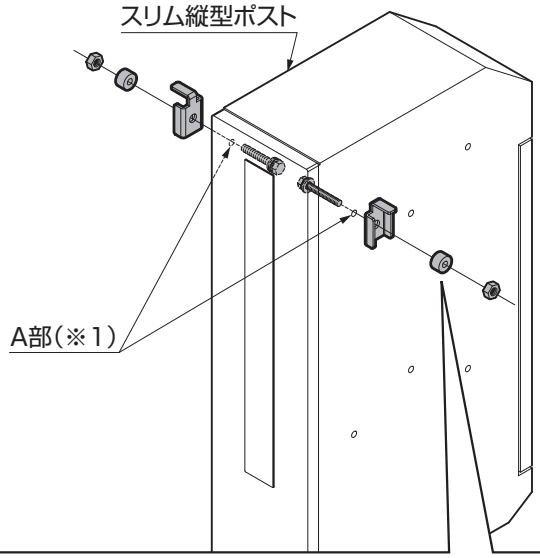
（1）ポスト取付用スペーサーの取付け



①スリム縦型ポストのA部（※1）の半パンチを打ち抜いてください。

ポイント

- ●A部（※1）はプラスドライバーとハンマーを使用して打ち抜いてください。
- ●A部（※1）以外の半パンチは抜かないでください。水漏れの原因になります。



②スリム縦型ポストの内側からA部（※1）に【2-6】を差しこみ、シリコンスペーサーで、ポスト取付用スペーサーを仮固定してください。（図3-7参照）

③【2-6】の先端に【2-3】を手回しで仮締めしてください。

ポイント

- ●ポスト取付用スペーサーはフィン（※2）が上側になるように仮固定してください。（図3-7参照）

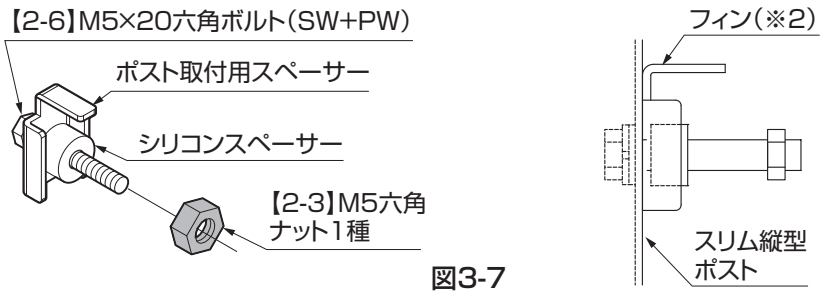


図3-7

A542_201607D

3.（つづき）

3-3（つづき）

（2）ポストの取付け

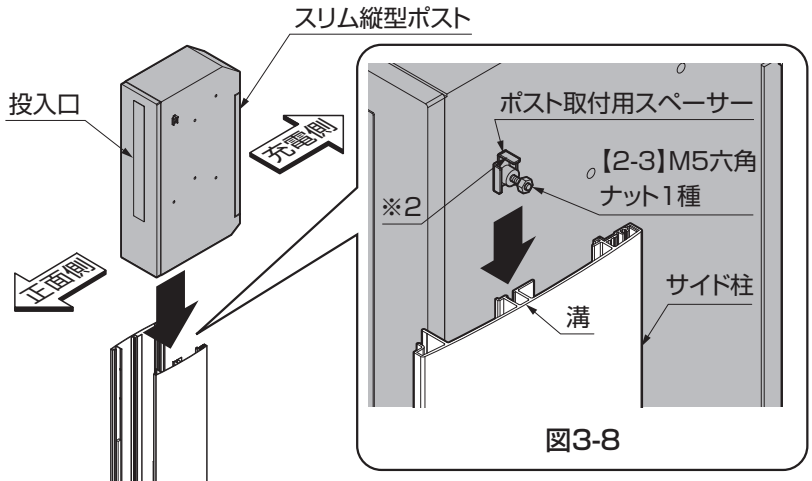


図3-8

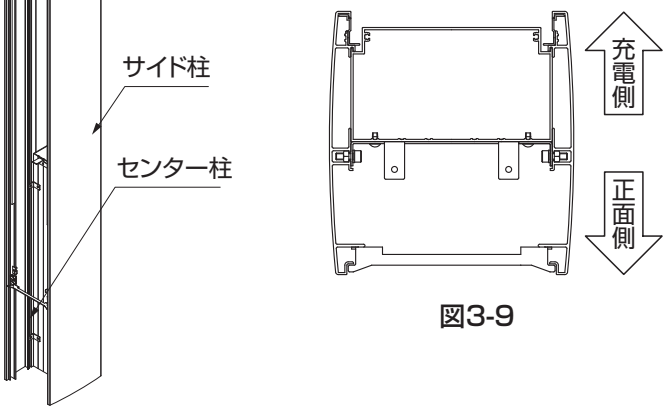


図3-9

①スリム縦型ポストの【2-3】を緩め、上側からサイド柱の溝へスライドして挿入してください。（図3-8参照）

ポイント

- ●【2-3】はポスト取付用スペーサーのフィン（※2）と合わせてサイド柱の溝へ挿入してください。（図3-8参照）
- ●スリム縦型ポストの投入口を正面側に向けて挿入してください。（図3-9参照）

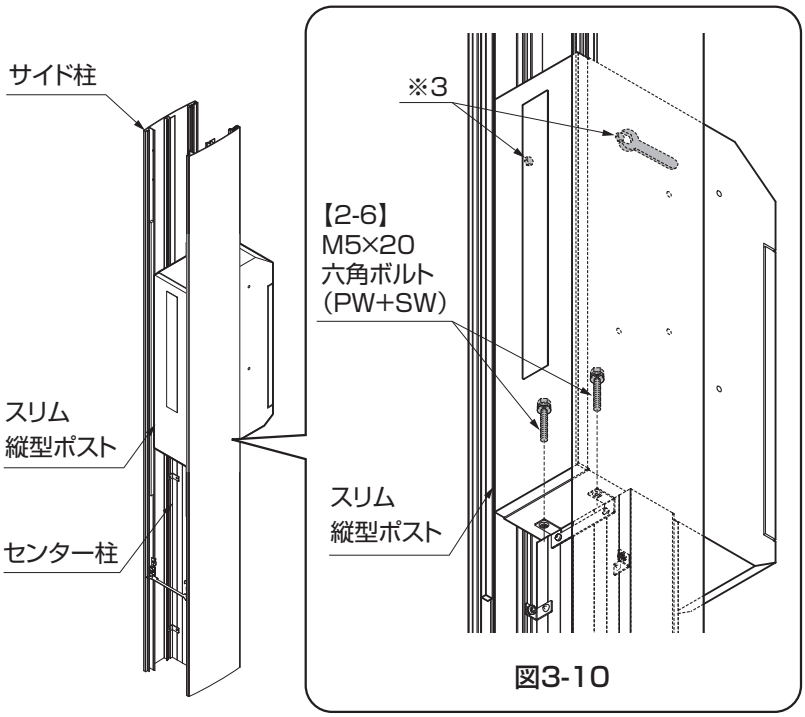


図3-10

②スリム縦型ポストの内側から【2-6】でスリム縦型ポストを取付けてください。（図3-10 参照）

③スリム縦型ポストの内側から※3を締め込んで固定してください。（図3-10 参照）

ポイント

- ●スリム縦型ポストを傾むいたまま固定しないように気をつけてください。
- ●スリム縦型ポストはスパナ8mmを使用して取付けてください。締め込みすぎると変形や破損の原因になります。

補 足

- ●スリム縦型ポストの錠や扉の勝手変更については「スリム縦型ポスト　取付説明書〈A460〉」を参照してください。

A542_201102A

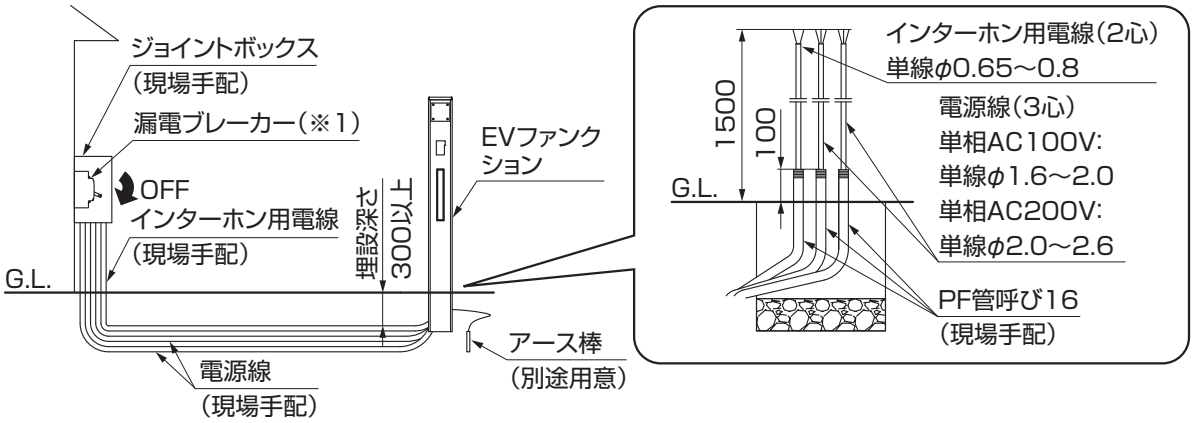
4. 屋外配線と基礎施工

4-1 屋外配線工事

※図はサイン照明付きの場合を表します。サイン照明無しの場合、電源線は1回路になります。

⚠ 注 意

●電気設計および電気工事は資格を有する電気工事店に依頼してください。

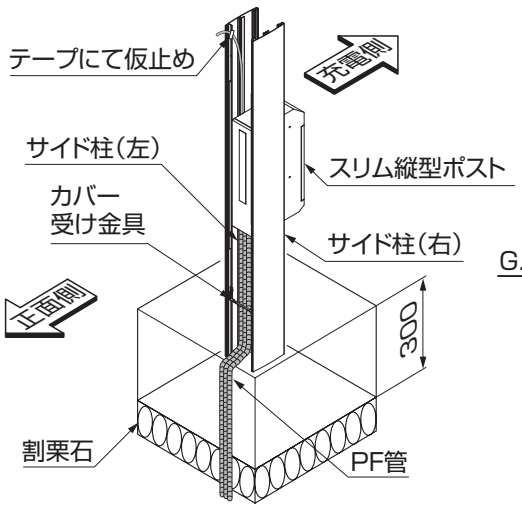


⚠ 注 意

●サイン照明にはAC100Vの電源が必要です。
●ジョイントボックス内の漏電ブレーカー(※1)を必ず「OFF」にして作業をおこなってください。
●漏電ブレーカーからEVファンクションへは1回路づつ専用回路を敷設してください。

4-2 基礎施工

※図はサイン照明付きの場合を表します。



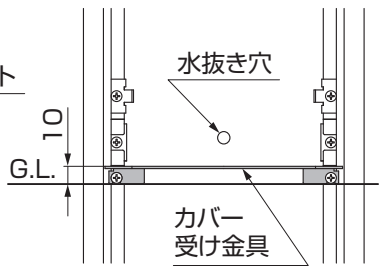


図4-1 G.L.位置

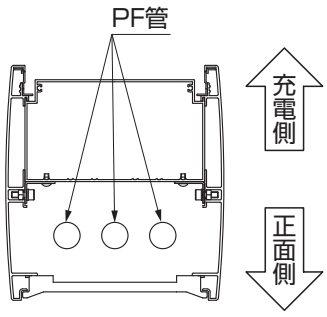


図4-2 配管立上位置

①基礎穴を掘り割栗石を敷いた後、配線を柱内に引き込んで、G.L.ラインまで柱をモルタルで埋めてください。
②引き出した配線はサイド柱とスリム縦型ポストの隙間を通してからテープなどで仮止めしてください。

ポイント

●カバー受け金具を埋め込まないように気をつけてください。フロントカバーの取付けが出来なくなります。
(図4-2 参照)
●インターホン用電線と電源線は、必ずサイド柱(左)、(右)の異なる柱側を通してください。

5. DC12V内蔵トランス電源の取付け　※サイン照明付きの場合にのみ必要な作業です。

5-1 DC12V内蔵トランス電源の取付けと配線

（1）明るさセンサー取付け穴の加工

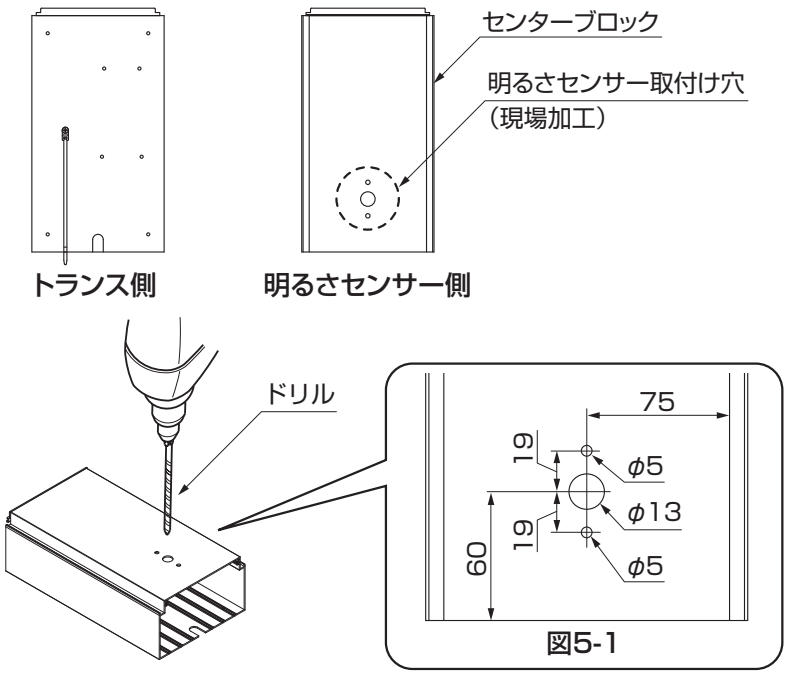


図5-1

①センターブロックにドリルを使って明るさセンサー取付け穴（φ13×1個所、φ5×2個所）の加工をしてください。（図5-1参照）

ポイント

●穴加工後にはヤスリを使ってバリを除去してください。

（2）DC12V内蔵トランス電源の取付け

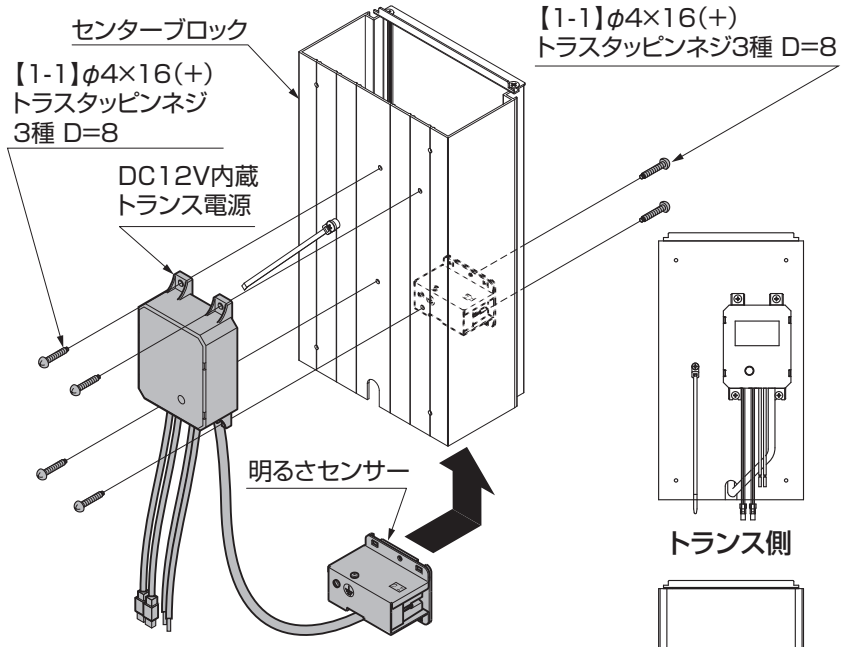


図5-2

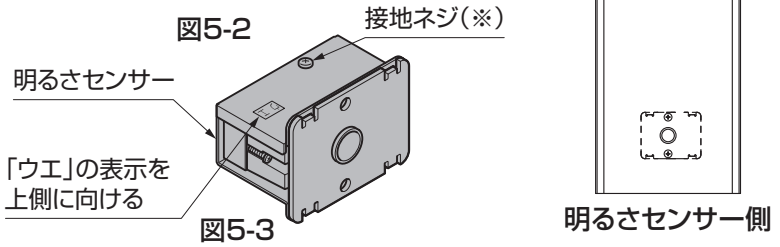


図5-3

①DC12V内蔵トランス電源をセンターブロックに【1-1】で取付けてください。（図5-2 参照）

②明るさセンサーをセンターブロックに【1-1】で取付けてください。（図5-2参照）

ポイント

●明るさセンサーには上下があります。必ず「ウエ」の表示を上側に向けて取付けてください。万が一、上下反対に取付けた場合、結露など水の浸入によるセンサーの故障につながります。（図5-3 参照）

●接地ネジ（※）を使ってD種接地線を共締めしてください。（図5-3 参照）

A542_201102A

6. センターブロックの取付け

6-1 センターブロックの取付け

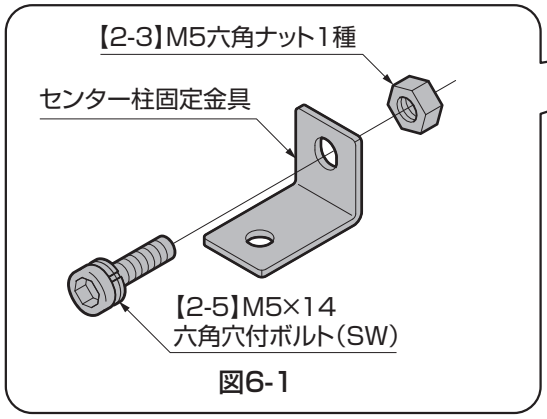


図6-1

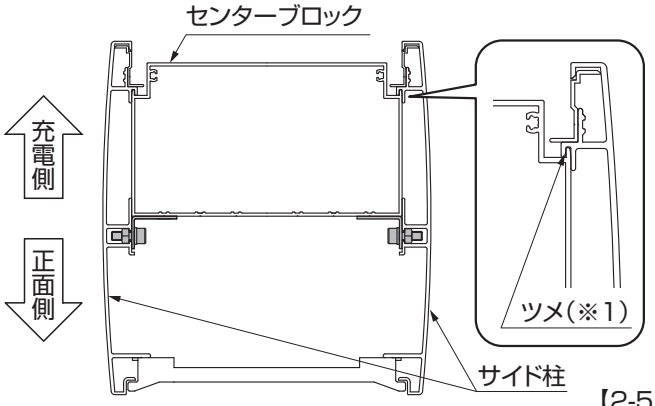


図6-2

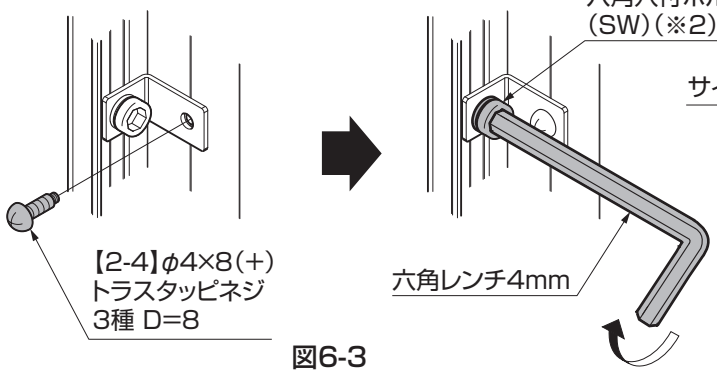
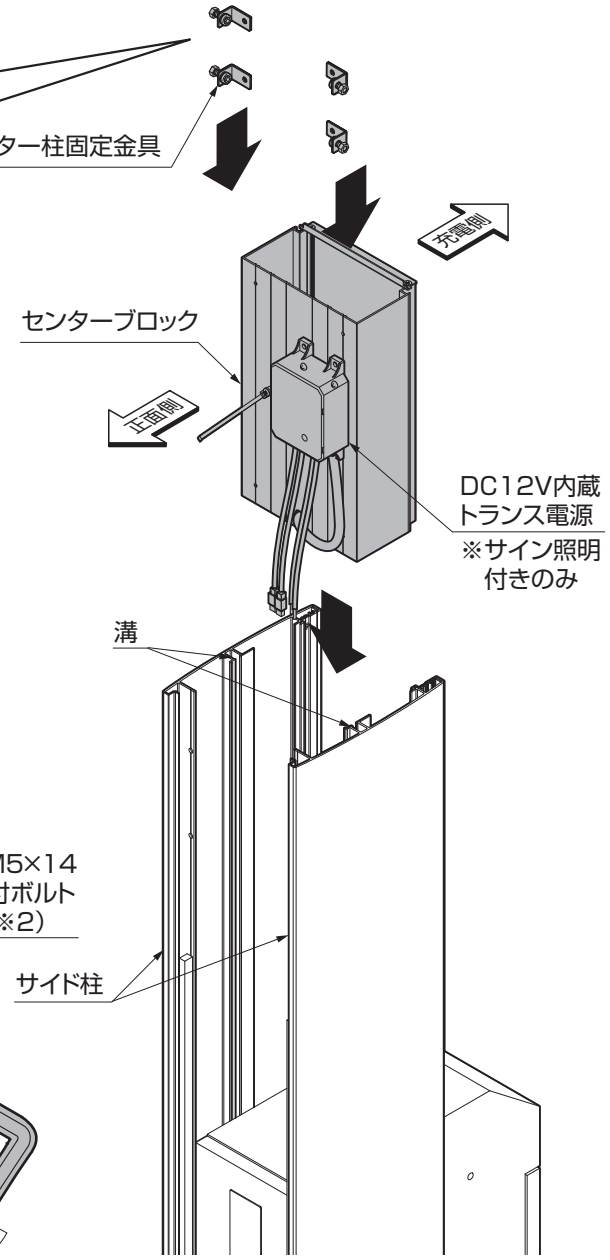


図6-3



①センター支柱固定金具に【2-5】を通して【2-3】を手回しで仮締めしてください。(図6-1参照)

補 足

●図6-1を4セット組立ててください。

②センターブロックのツメ(※1)をサイド柱にはめて上からスライドしてください。(図6-2参照)
③図6-1の【2-3】を緩めて、センター柱固定金具をサイド柱の溝にスライドして挿入してください。
④センター支柱固定金具をセンターブロックの下穴にあわせて【2-4】で取付けてから、【2-5】を締め付けてください。(図6-3参照)

ポイント

●【2-5】は六角レンチ4mmで、スプリングワッシャーがつぶれるまで締め付けてください。(※2)(図6-3参照)

A542_201607D

6-2 DC12V内蔵トランス電源の配線 ※サイン照明付きの場合にのみ必要な作業です。

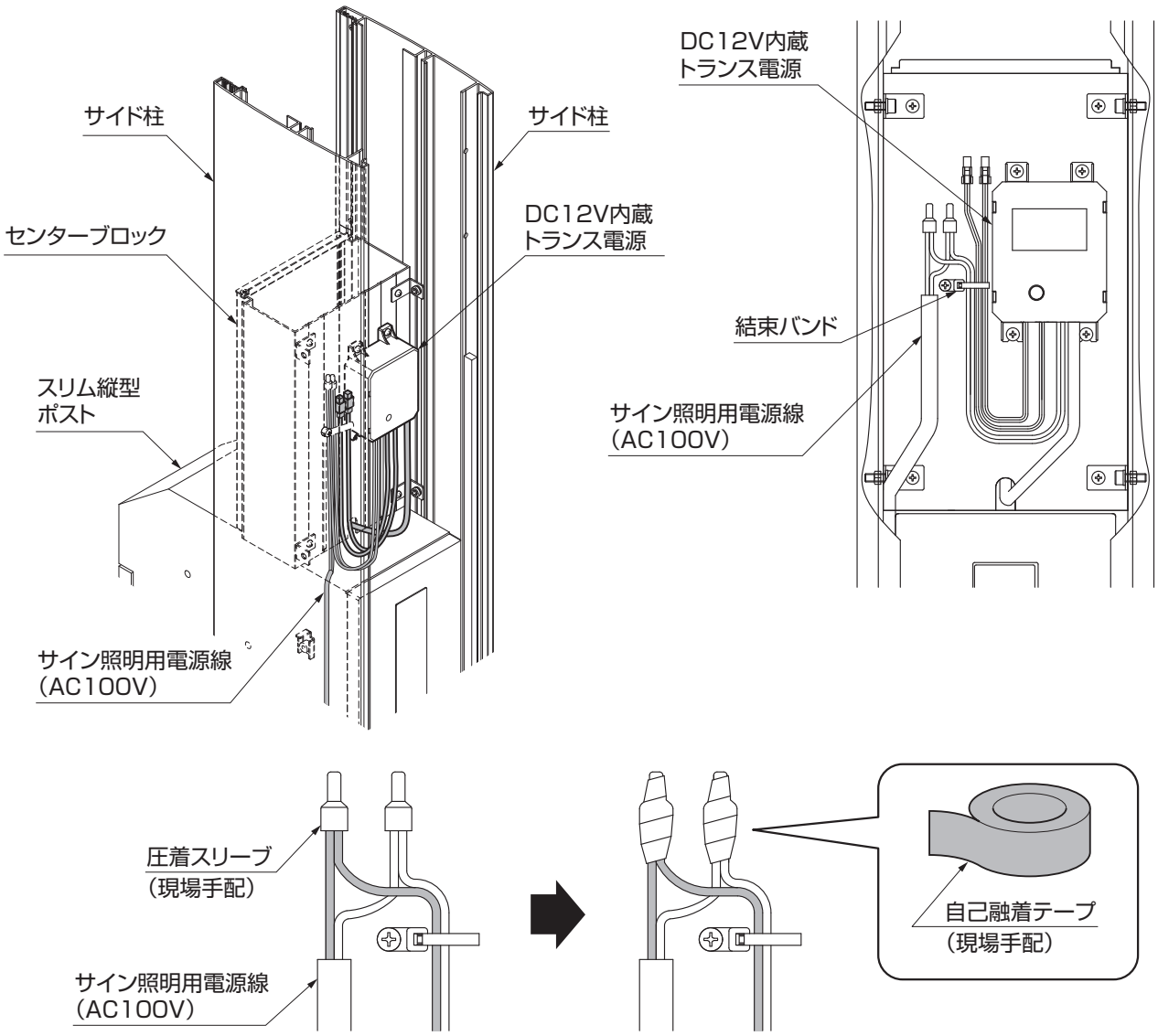


図6-4

①サイン照明用電源線(AC100V)をスリム縦型ポストとサイド柱の隙間から引き出してください。
②サイン照明用電源線(AC100V)と、DC12V内蔵トランス電源の白と黒の線を圧着スリーブを使用してカシメてください。(図6-4参照)
③圧着スリーブを自己融着テープで、別々に防水テーピングを施してください。(図6-4参照)
④結束バンドを使用して圧着スリーブを上向きに固定してください。(図6-4参照)

⚠ 警 告

●防水テーピングは確実に行なってください。不完全な場合、絶縁不良による火災・感電の原因になります。(図6-4参照)

ポイント

●コネクター付きの配線はDC12V出力線のため、AC100Vを接続しないでください。誤って接続した場合、機器の電子部品が破損します。

A542_201102A

7. 充電BOXの取付け

7-1 充電BOXの組立て

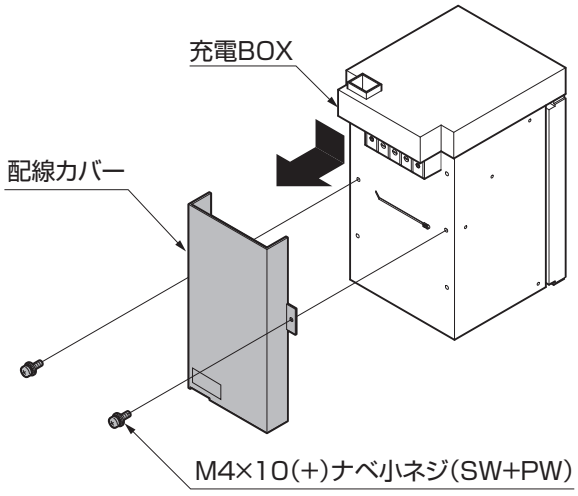


図7-1

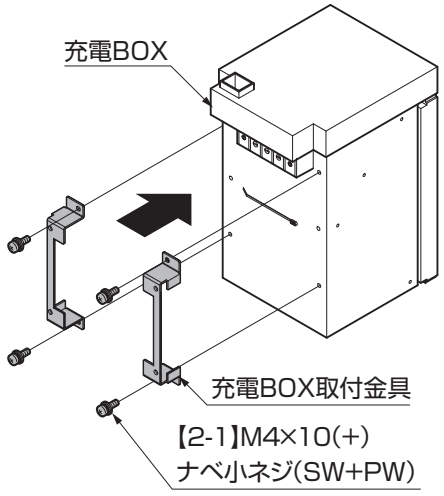


図7-2

①充電BOXのM4×10(+)ナベ小ネジ(SW+PW)を外して、配線カバーを取外してください。(図7-1参照)
②充電BOX取付金具を充電BOXに、【2-1】で取付けてください。(図7-2参照)

補 足

●取外した配線カバーとネジは「7-3 配線カバーの取付け」にてもう一度使用しますので大切に保管してください。

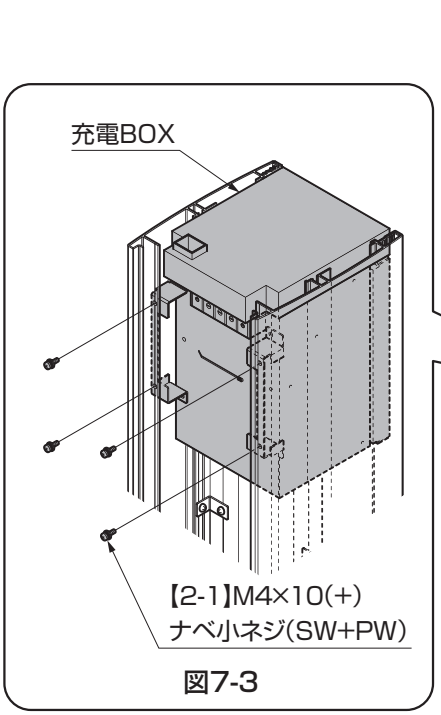


図7-3

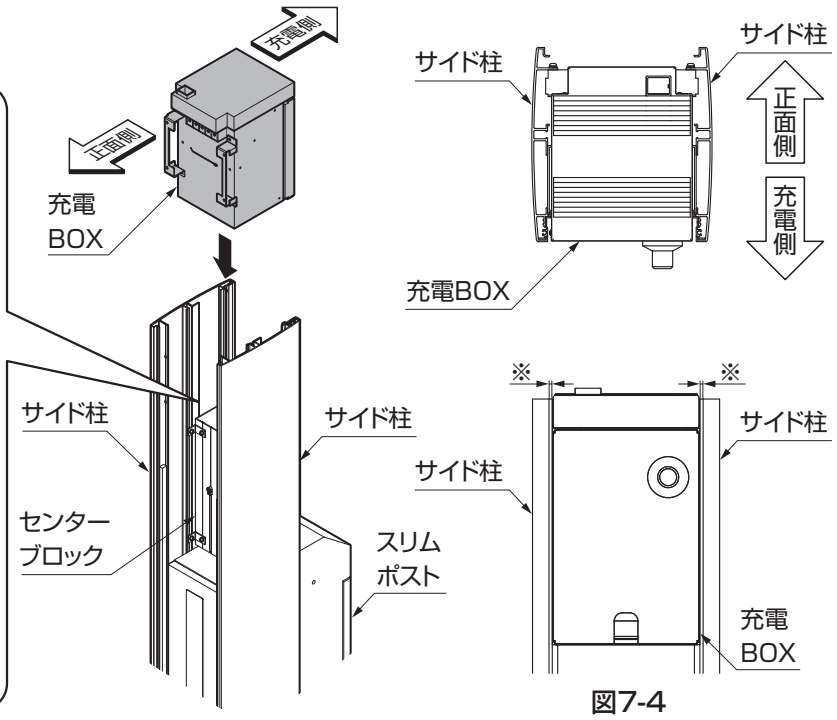


図7-4

③充電BOXをサイド柱の上側からスライドさせてセンターブロックの上に乗せてください。(図7-3参照)
④充電BOXを正面側から【2-1】で取付けてください。(図7-4参照)

ポイント

●充電側から見て充電BOXの隙間(※)が均等であることを確認して【2-1】で取付けてください。(図7-4参照)

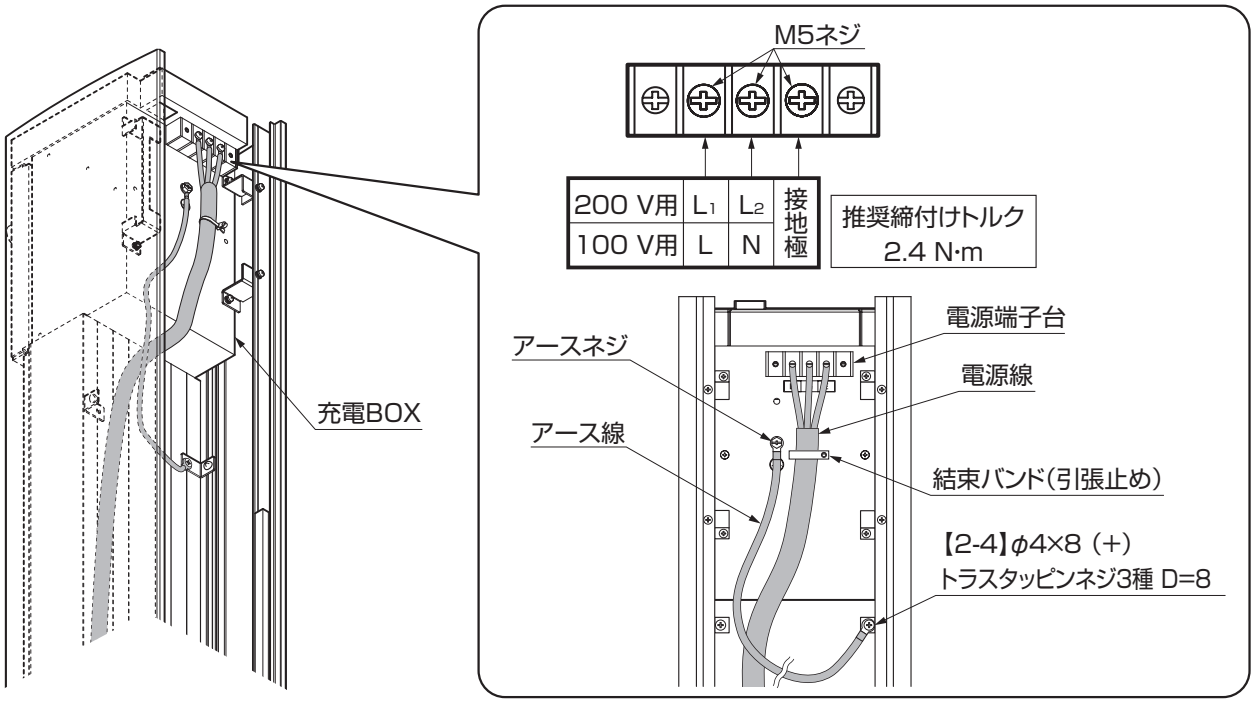
A542_201607D

7.（つづき）

7-2 充電BOXの配線

⚠ 警 告

●電源端子台への配線は、極性を確認して間違いがないように、確実におこなってください。誤配線は発熱や火災による事故の原因になります。



①電源線を結束バンド(引張止め)でまとめて、電源端子台に配線してください。
②アースネジとセンター柱を固定している【2-4】を外し、アース線と共締めしてください。

7-3 配線カバーの取付け

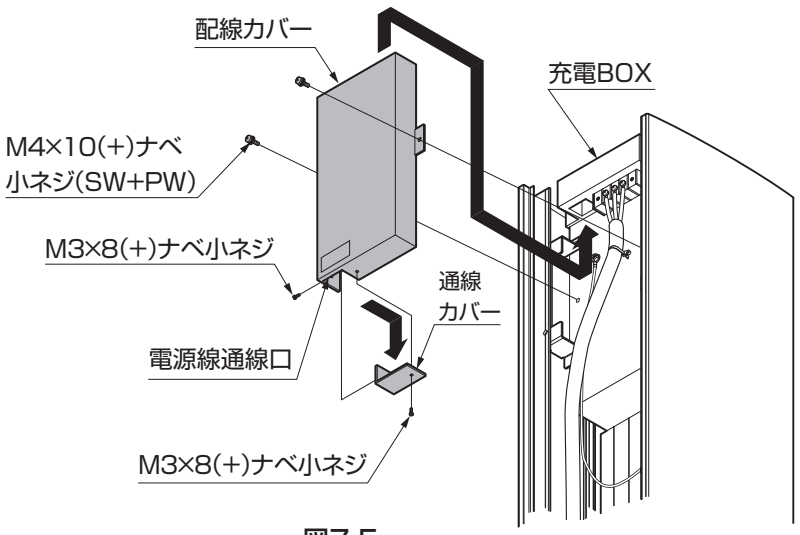


図7-5

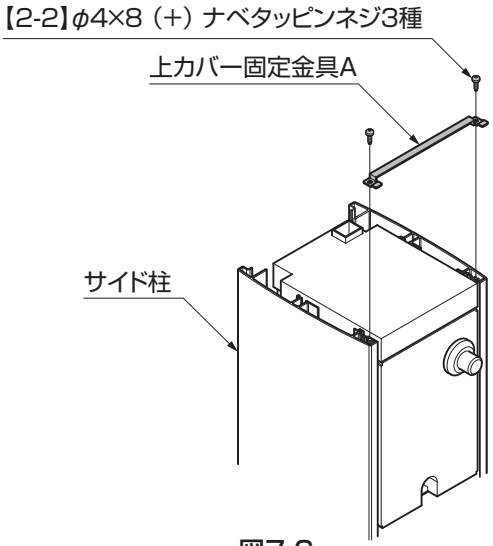


図7-6

①配線カバーからM3×8(+)ナベ小ネジを外して通線カバーを取外してください。(図7-5参照)
②配線カバーを充電BOXにM4×10(+)ナベ小ネジ(SW+PW)で取付けてください。(図7-5参照)
③上カバー固定金具Aをサイド柱に【2-2】で取付けてください。(図7-6参照)

A542_201102A

8. サイン用LEDユニットの配線　※サイン照明付きの場合にのみ必要な作業です。

8-1 LED用ファンクションケーブルの接続

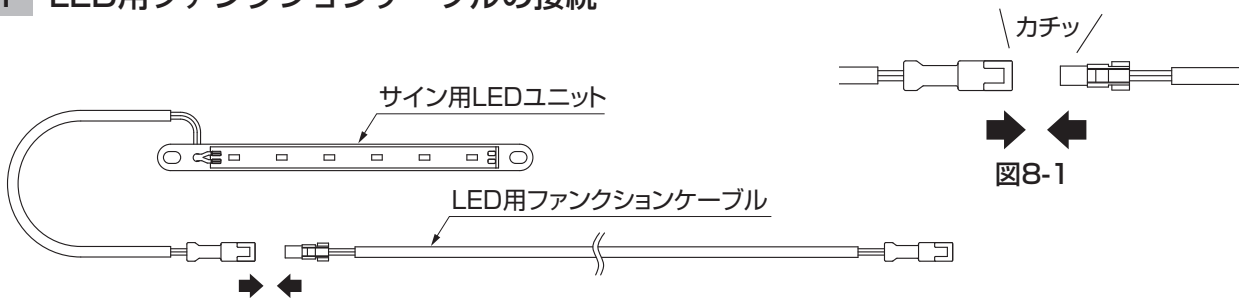


図8-1

①サイン用LEDユニットにLED用ファンクションケーブルを接続してください。

ポイント

●コネクター同士が「カチッ」と音がなるまでしっかり差し込んでください。(図8−1参照)

8-2 DC12V内蔵トランス電源との接続

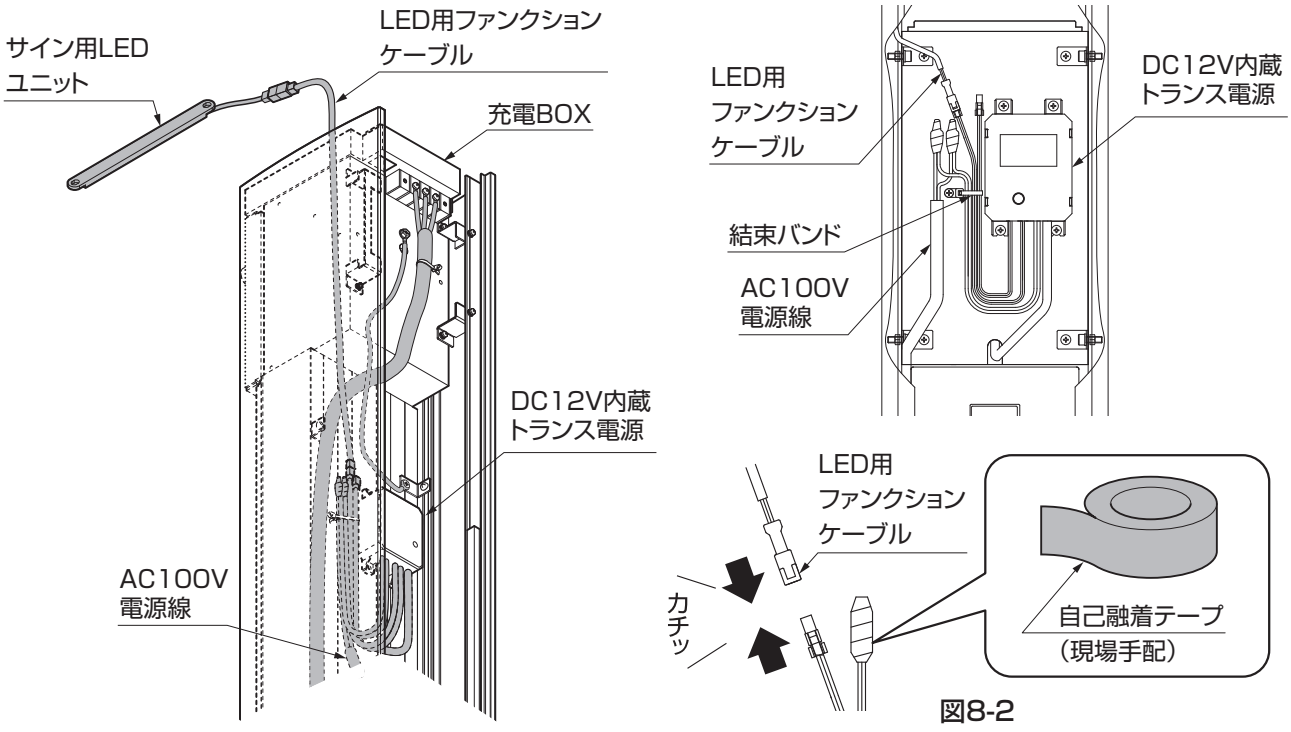


図8-2

①LED用ファンクションケーブルをサイド柱と充電BOXの隙間を通して引き込んでください。
②LED用ファンクションケーブルのコネクターとDC12V内蔵トランス電源のコネクターを接続してください。(図8-2参照)
③DC12V内蔵トランス電源の使用しないコネクターには防水テーピングを施してください。(図8-2 参照)

⚠ 警 告

●防水テーピングは確実に行なってください。不完全な場合、絶縁不良による火災･感電の原因になります。(図8-2参照)

ポイント

●コネクター同士が「カチッ」と音がなるまでしっかり差し込んでください。(図8-2 参照)

A542_201607D

9. フロントカバーの取付け

9-1 インターホンの取付けと配線 ※本図はインターホンスペーサーAの場合を示します。

ポイント

●本作業の前に、インターホン子機への配線およびカメラレンズの角度調整をおこなってください。
●インターホン子機への配線、カメラレンズの角度調整はインターホン子機に付属の各説明書を参照してください。

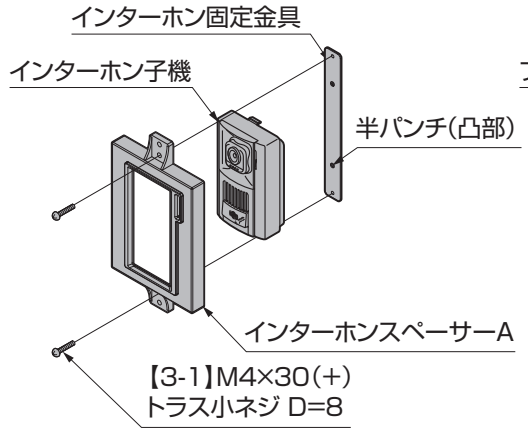


図9-1

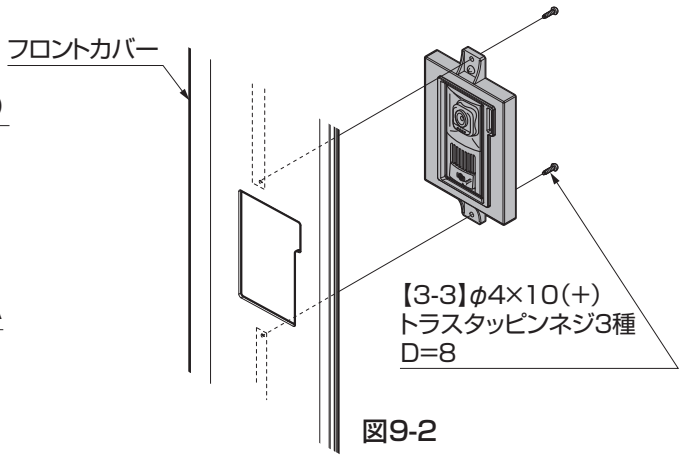


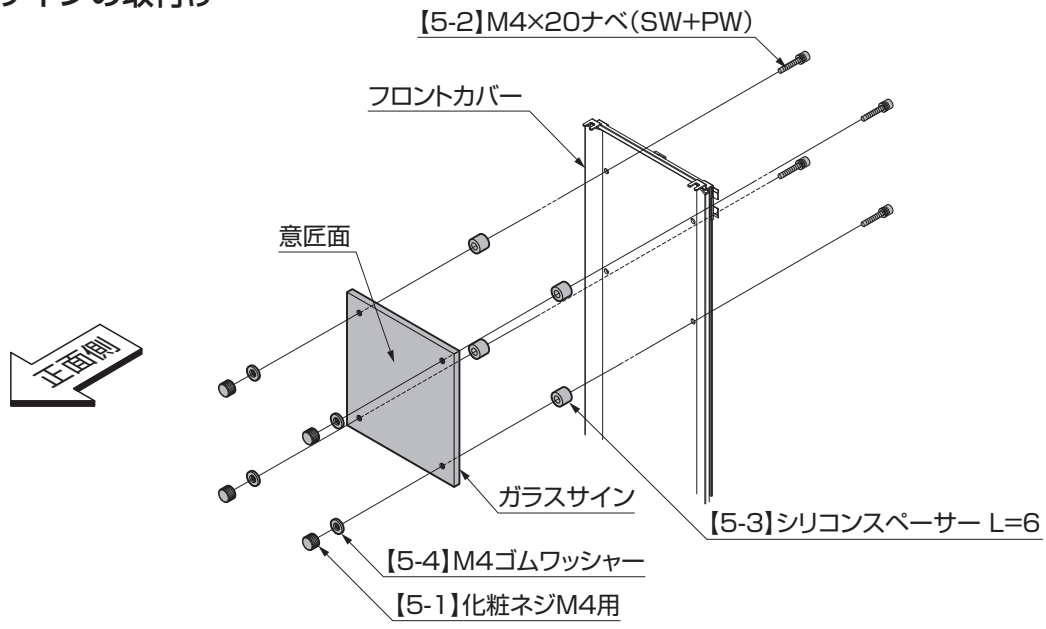
図9-2

①インターホンスペーサーとインターホン子機を、インターホン固定金具に【3-1】で取付けてください。(図9-1 参照)
②インターホンスペーサーをフロントカバーの切り欠きにあわせて【3-3】で取付けてください。(図9-2 参照)

補足

●インターホン固定金具は半パンチ(凸側)をインターホン子機に向けて取付けてください。(図9-1 参照)

9-2 サインの取付け



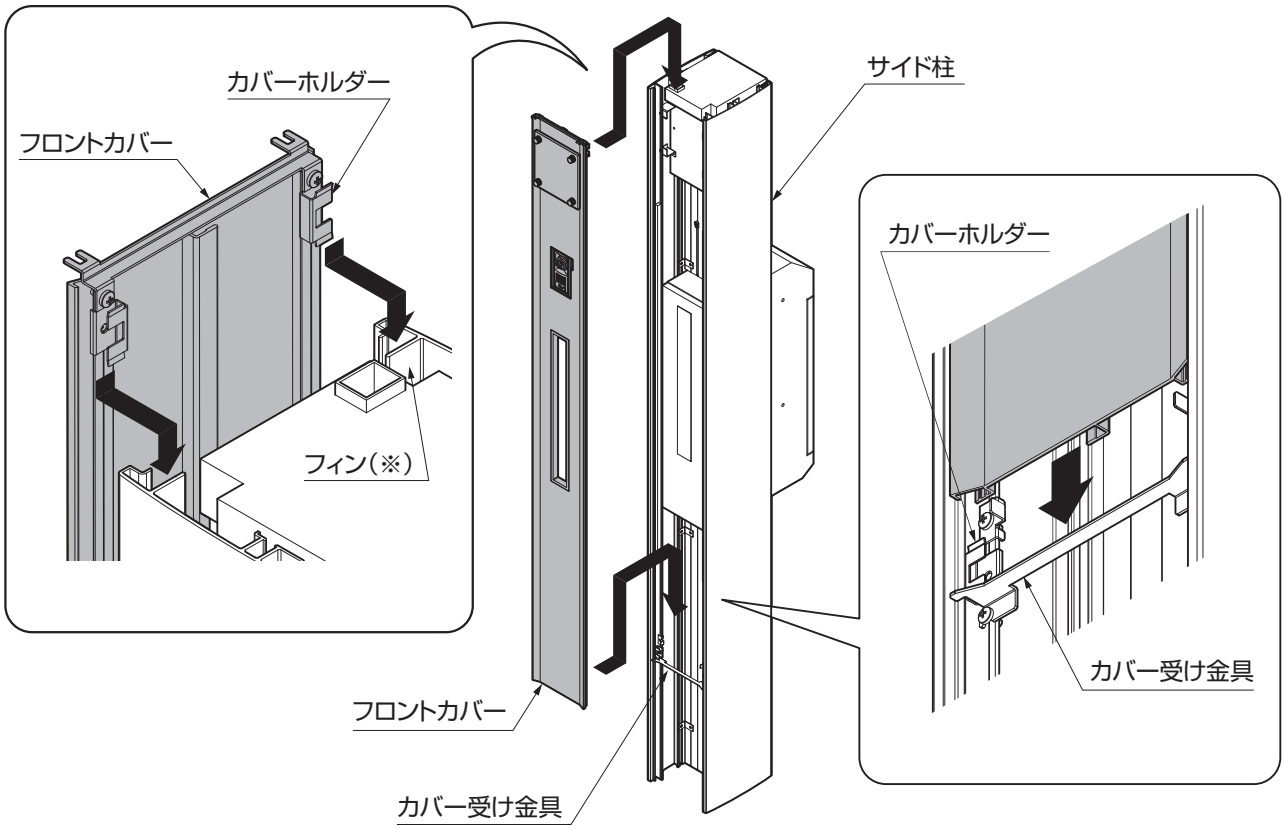
①ガラスサインをフロントカバーに、【5-1】、【5-2】、【5-3】、【5-4】で取付けてください。

補足

●ガラスサインは意匠面(文字が掘り込んである面)を正面側に向けて取付けてください。

A542_201102A

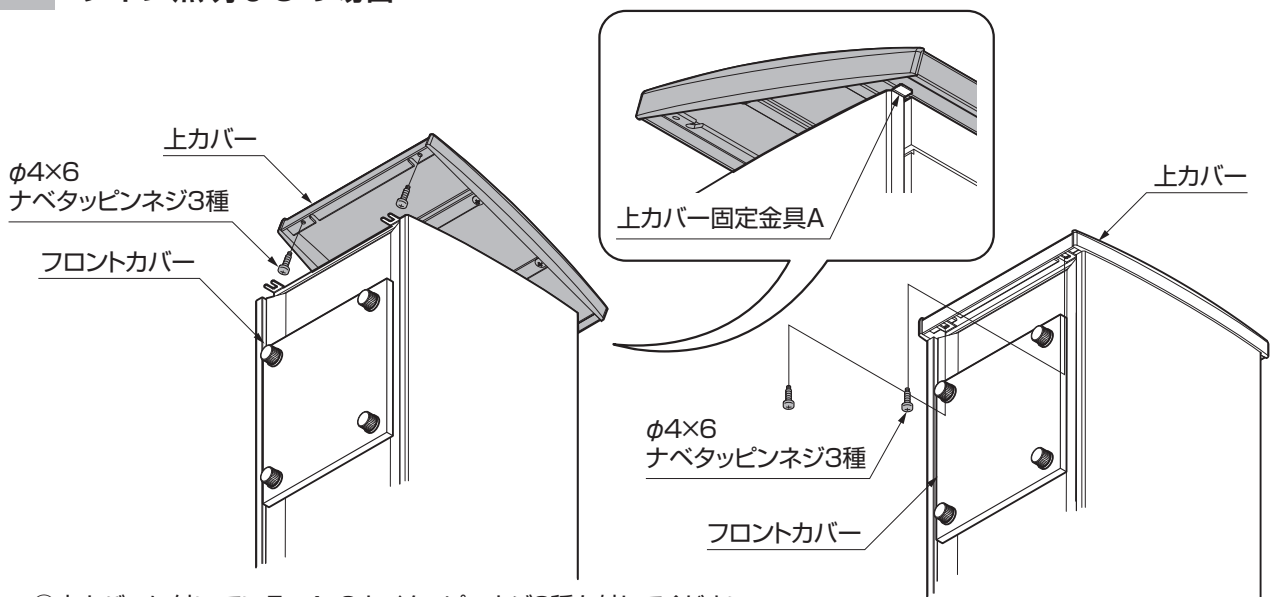
10. フロントカバーの取付け



①フロントカバーのカバーホルダーをサイド柱のフィン(※)に上からにスライドし、フロントカバーの下側をサイド柱のカバーホルダーに通して、カバー受け金具につきあたるまで差し込んでください。

11. 上カバーの取付け

11-1 サイン照明なしの場合



①上カバーに付いているφ4×6ナベタッピンネジ3種を外してください。
②上カバーを上カバー固定金具Aにひっかけて、バックパネルにφ4×6ナベタッピンネジ3種で固定してください。

A542_201607D

11. (つづき)

11-2 サイン照明付きの場合

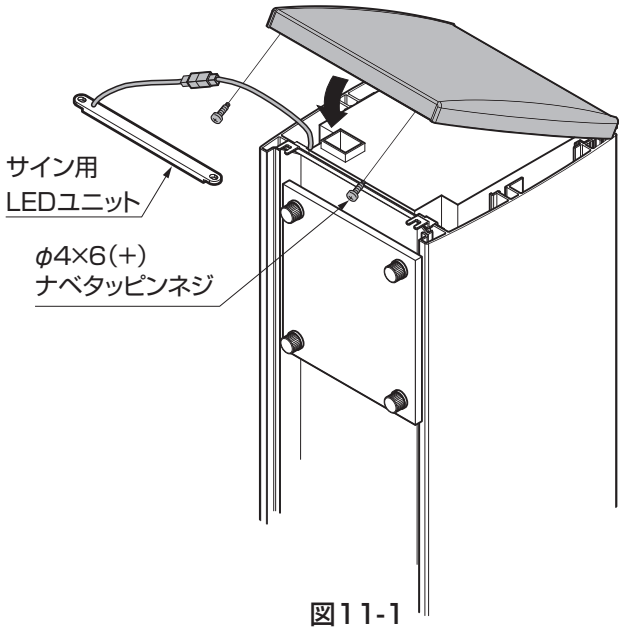


図11-1

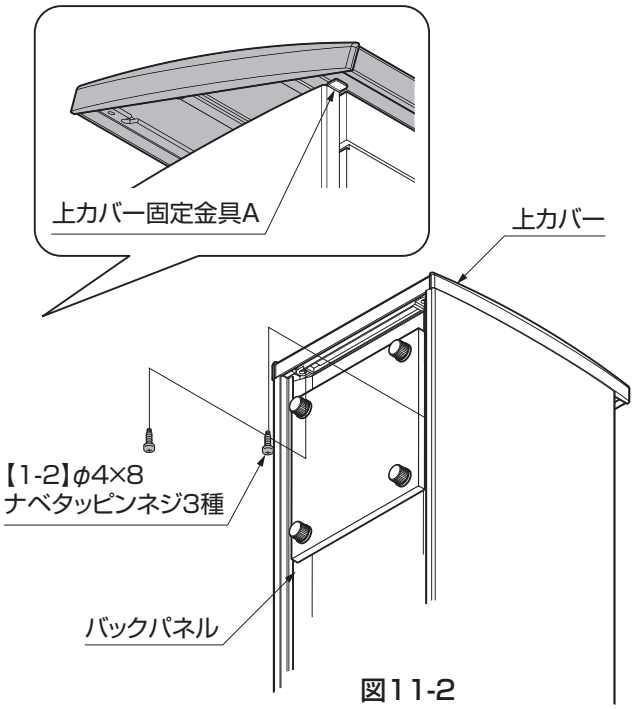


図11-2

①上カバーのφ4×6(+)ナベタッピンネジを取外してください。

補 足

●取外したφ4×6(+)ナベタッピンネジは使用できません。

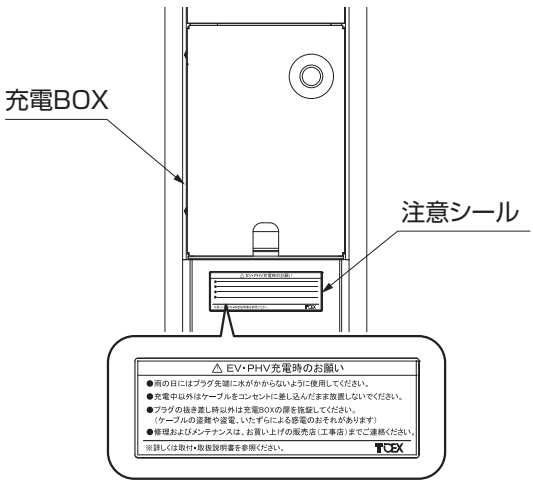
②サイン用LEDユニットの配線を引き出してから、上カバーを上カバー固定金具Aにひっかけてください。
③サイン用LEDユニットと上カバーを【1-2】で共締めしてください。

ポイント

●サイン用LEDユニットの配線をはさみ込まないように気を付けて取付けてください。(図11−1 参照)
●ガラスサインにキズを付けないように【1-2】で取付けてください。(図11-2 参照)

12. 注意シールの貼付け

12-1 注意シールの貼付け



①注意シール(EV･PHV充電時のお願い)を充電BOXの下側に貼付けてください。

⚠ 注 意

●注意シールには、EVポールを安全にご使用いただくために必要な内容が記載されています。

A542_201102A

13. 施工後の検査と作動確認

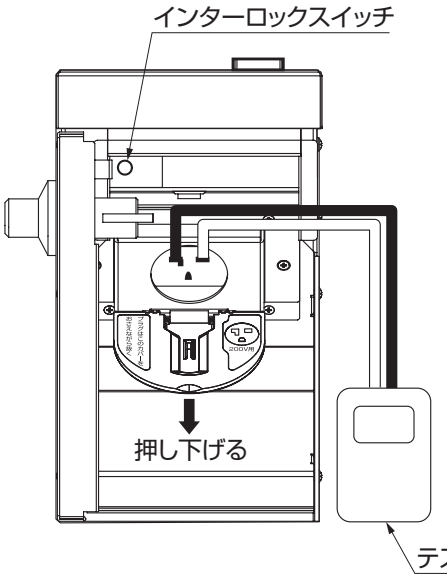
13-1 施工後の検査項目

			判 定
配線工事	1	配線は正しく確実に配線されていますか?	
	2	アース線はD種接地工事がされていますか?	
	3	結束バンド(張力止め)が施されていますか?	
	4	1回路につき1個の漏電ブレーカが設置されていますか?	
	5	漏電ブレーカの定格容量は正しいですか?	
動作確認	1	充電BOXの扉を開けた時、内照用LEDが点灯していますか?	
	2	充電BOXの扉を閉じた時、コンセントに定格電圧が供給されていますか?	
	3	扉の施錠が確実にできますか?	
引き渡し確認	1	ダイヤル錠解錠シールを取扱説明書(17ページ)に貼り付けましたか?	
	2	取扱説明書(兼保証書)とダイヤル錠解錠シール(1枚)は必ずお客様へお渡しください。	

ポイント

●施工終了後、必ず上記の項目を検査の上、「13-2 充電BOXの作動確認」をおこなってください。

13-2 充電BOXの作動確認



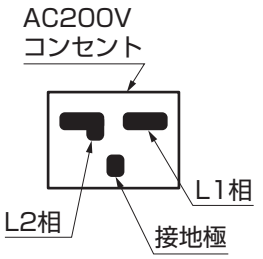


図13-1

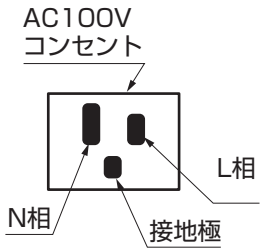


図13-2

①漏電ブレーカをONにし、充電BOXの作動を確認してください。

ポイント

●充電BOXの扉を開けた状態で内照用LEDが点灯すること。
●扉を開けた時に電圧が0Vであること。
●AC 200Vの場合、コンセントのL1相、L2相にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧(AC 200V)が出力されていること。(図13-1参照)
●AC 100Vの場合、コンセントのL相、N相にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧(AC 100V)が出力されていること。(図13-2参照)
●テスターを接続した状態で扉を閉められない場合は、インターロックスイッチを押して作動を確認してください。
●不具合があった場合は、「13-1 施工後の検査項目」の見直し」を行ってください。

14. 商品仕様

用途	200 V用	100 V用
定格	AC200 V 20 A	AC100 V 15 A
消費電力	2 W(車両充電容量は除く)	
使用温度範囲	− 10 ℃～+ 40 ℃	
その他機能	ダイヤル錠、インターロック、内照用LED	

取説コード
A542
JZZ622556C
201102A_1041
201607D_1048